





イメージキャラクター  
なごみちゃん

# ふれあい・いきいきサロン通信

編集・発行：高松市社会福祉協議会

☎(087)811-5666

第2号(平成27年10月)

名前(地区名)	すまいる・さろん(牟礼地区)
開催場所	原クリーンハイツ自治会集会場
開催回数	週3回(水・木・土)
対象者・人数	地域住民 約110人

牟礼地区・原クリーンハイツ自治会では、ボランティアグループ「原クリーンハイツの暮らしを考える会」が高齢者の居場所づくり、声掛け・見守り、自己啓発支援、三世交代りなどの活動に取り組んでいます。

高齢者の居場所づくり事業に「すまいる・さろん」と名付け、四つの願い「①みんなが楽しくなる。②みんなが元気になれる。③みんなが仲良くなる。④みんなが優しくなる。」掲げて、ユニークな活動を続けています。



曜日ごとに、「すまいる喫茶」、「健康体操教室」、「歌声教室」、「脳トレ麻雀教室」が開かれています。また、この他にも花見、月見、遠足、敬老会などの行事に加え、三世交代りの七夕祭り・クリスマス餅つき大会なども行われます。昨年度の利用者は延べ4,000人を超え、地域の高齢者に大変喜ばれています。また、その評判を聞きつけて、県内外から多くの方々が視察や研修に訪れています。

なお、毎週土曜日に行われている「すまいる喫茶」と「健康体操教室」は、自治会以外の方でも自由に参加できますので、ぜひ気軽に立ち寄って、利用者やスタッフの明るく生き活きとした様子を見てください！



高松市社協では、地域で孤立しがちな高齢者や障がい者、子育て中の母親などの交流の場や仲間づくりのために、サロン活動を実施する各地区社協に対して、活動費の一部を助成し、地域住民の手によるつながりと支え合いのある地域づくりを支援しています。

「ふれあい・いきいきサロン通信」では、各地区のサロン活動をご紹介します！

※助成の詳細や、掲載のサロンに関するお問い合わせは高松市社会福祉協議会へお願いします。



名前(地区名)	高齢者ふれあい・いきいき農園(庵治地区)
開催場所	庵治地区松尾自治会内農地
開催回数	週2回程度(季節や天候により変更)
対象者・人数	松尾自治会内 高齢者 15名程度

高齢化が進み、中山間地域においては耕作放棄地の増加により、田畑の景観に大きな変化が起こっています。庵治地区でも、田畑が放置されて荒れ果ててしまったり、獣害が発生したりしています。

さらに、高齢者夫婦のみの世帯・高齢者の一人暮らし世帯が増え、家に閉じこもりがちな高齢者の増加や地域コミュニティ活動への参加者減少などによって地域の活力が失われつつあり、早急な対応が求められていることから、市社協では、閉じこもりがちな高齢者等の外出支援と交流の場を提供することを目的に、耕作放棄地を活用したサロン農園「高齢者ふれあい・いきいき農園」を平成26年度からスタートしました。



この農園では、地区社協や現役農家、地元JAの協力・指導のもと、草刈りから土壌改良、作付け、育成、収穫まで参加者が行っており、土を耕したり、草を抜いたりすることによって適度な運動効果がある上、自分が育てた農作物を収穫して食べる楽しみや喜びが高齢者の生きがいづくりにもなり、こういったことが参加者の健康増進に役立つものと期待しています。

また、農作業を通じて参加者同士や協力者が楽しく交流でき、仲間づくりの輪が広がり、地域コミュニティ活動の活性化にもつながっています。

今年度は、収穫直前の里いもをイノシシに食べられてしまい、残念な思いをしました。害獣対策が来年度の課題です。

